

2004年9月20日

株式会社 秀潤社

## 第77回日本生化学会大会モーニングレクチャーのお知らせ

動的で複雑な生命現象のシステム生物学

- 日時 2004年10月15日(大会3日目) 午前8時30分~9時10分
- 会場 パシフィコ横浜 T会場 (アネックスホール)
- 講師 上田泰己 (理化学研究所 発生・再生科学総合研究センター)
- サマリー 2003年のヒトゲノムプロジェクトの完全解読に象徴されるように、大腸菌、出芽酵母、分裂酵母、線虫、ショウジョウバエ、シロイヌナズナ、イネ、マウス、ラット、ヒトなどの数多くのモデル生物のゲノム配列が次々と決定されており、進行中および終了プロジェクトを合わせると、ゆうに1000を超えるゲノムプロジェクトが存在する。このような動きを背景にして生命科学分野全般で分子からシステムへとパラダイムシフトが起きている。セミナーではシステム生物学の4分野(システム同定、システム解析、システム制御、システム設計)の中でも特にシステム同定の分野について解説し、体内時計をモデル系としたゲノムスケールの情報・リソース・技術を用いて動的で複雑な生命現象を解明していくための研究戦略について現状と課題を報告する。またこれらの研究戦略のヒト体内時計研究への応用事例についても概説したい。

[第77回日本生化学会大会のページへ](#)

朝食をご用意して、みなさまのご来場をお待ちしております!!

「細胞工学」編集部 電話：03-5281-0551 (代)